

一般社団法人京都府防犯設備協会

当協会では、2026年度定時総会において役員改選を行い、新たな体制でスタートいたしました。

前会長の仲 良二氏には、長年にわたり会長として協会運営を牽引され、京都府内における防犯設備・防犯カメラの普及促進、防犯設備士の育成、地域防犯活動の推進など、協会発展に大きく貢献いただきました。

このたび、新会長に友田 彰夫氏が就任いたしました。友田会長は、これまで副会長として仲会長を支えながら協会運営に携わるとともに、防犯設備士養成講習や資格更新講習、総合防犯設備士受験セミナーの講師を務めるなど、長年にわたり防犯設備士の育成と技術向上に尽力してられました。

新体制では、「京都の安心・安全なまちづくりに貢献」を活動テーマに掲げ、これまで培われてきた協会の伝統と実績を継承しながら、会員相互の連携強化と地域防犯活動のさらなる充実を目指してまいります。

京都府警察をはじめ関係機関と連携し、防犯講話や広報啓発活動を実施するとともに、防犯設備士資格を有する防犯アドバイザーの育成や防犯講習会への講師派遣などを通じて、防犯知識の普及と人材育成に取り組んでおります。

本年度は、協会設立25周年記念事業を予定しております。これを新たな飛躍の機会とし、会員相互の連携を深めながら、京都府が推進する「犯罪のない安心・安全なまちづくり」の実現に向け、防犯設備士の専門性を活かした活動を推進してまいります。



NPO法人大阪府防犯設備協会

「防犯防災総合展2026」への出展

令和8年4月15日から17日までの3日間、大阪市住之江区のインテックス大阪で開催されたテレビ大阪等主催の「防犯防災総合展2026」に例年どおり出展しました。今年は157社・団体が出展しましたが、今回は新たに熊対策の展示があったのと、同時開催の「熱中症対策展」に50を超える企業が出展していたのが特徴的でした。

当協会は会員企業2社による防犯機器の展示の他、協会のチラシや防犯設備士資格試験の受験案内などを置いた防犯相談コーナーを設け、会員有志が交代でブースにつめて来場者からの防犯相談や防犯設備士資格試験の受験相談を受け、来場者には日防設からの補助金で作成した防犯グッズ（アルミサッシ窓への補助締り）を配布して協会の知名度アップを図りました。

また、会場内では連日、4会場（各会場約100人収容）で防犯・防災対策、熱中症対策や熊対策まで多様なセミナーが開催され、当協会からは全国各地で“開かずの金庫”を解錠する天才鍵職人としてテレビでも活躍している当協会役員の玉置恭一氏（株）ダスキン テクニカルアドバイザー）が「ここが狙われる！変わりつつある防犯対策」のテーマで登壇し好評を博しました。

同展示会は、以前は2日間開催であったのが昨年から3日間開催になり協会事務局としては相談要員の確保に苦労していますが、来場者も3日間で合計16,320人と協会の活動紹介や知名度アップには良い機会でありますので、今後も参加していきたいと考えています。

